

## しりべしツーリズムサポートニュース



Vol.151

令和二年 11 月

## 令和2年度「しりべし i システム事業スタッフ研修会」報告



今年度の研修会は「仲間と集う日」と大切にしていた小川原理事を偲び、残された店をコロナ禍が襲うなか、女将、スタッフと共に日々奮闘の様子を娘として、後継者としての思い出と想いの講演をご長女、河野明香さんをお願い致しました。初講演という貴重な機会のなかで私たちの知らない頑固で厳しい父の姿の一面や京都修業時代の肌で感じた京都の価値観、コロナ影響による商売の大変さ、小川原氏亡きあと次々に現れる課題に「社長ならどう進んでいくだろうか・・・」とスタッフと共にチーム藪半となって日々奮闘されていることを話されていました。コロナ影響は大きいけれど、外国人観光客殺到で本当のおもてなしが出来ていただろうか・・・など反省と気づきもあった



そうです。講演「小樽・藪半若女将の独り言」はコロナのことも考え、i システム事業関係者、担当者だけの周知にしておりました。いつもならテキストでの講演録公開ですが、今年は周知制限した事もあり、動画配信サービス利用による講演録として編集が終わり次第、しりべし i ネットのダウンロードページから見る事が出来るよう致します。

## ランチ会を挟んで午後からの後志観光連盟主催のセミナーは



「鹿部町長 盛田昌彦氏による鹿部町の取組みの概略」  
続いて「道の駅を運営している(株)シカベンチャーからこ代表取締役 大関将広氏による先進的取組み事例」の講演を頂きました。鹿部町人口 3,800 人

平成 29 年から町長となられている盛田氏は 49 歳という若さで商工労働課長から町長になられた方。動き、

話しに勢いがある方で短期間で道の駅を魅力ある施設にするなど観光手腕高い方ようです。(株)シカベンチャーは道の駅運営、ふるさと納税業務などを行い大関氏は道の駅運営を経営の視点、よそ者視点から改革を行い、人材、商品開発、情報発信、店舗設計と大経営改革を行い、2 年ほどで素晴らしい実績を出しました。大関氏にとっては道の駅経営の「実践ラボ」意識のようです。鹿部町の事例、実績を成功例として伝播させるのが目的のように思いました。ですので講演資料も非常に詳細で、視察なども積極的に受け入れており、すでに管内の観光事業関係者の方も訪れているようです。